

おれんじの屋根

施設長より

一つ傘の中に

1ヶ月ほど前の7月22日(土)、しょうぶの里を会場に、初めての取組として、熊本市手をつなぐ育成会の全体研修会を実施しました。職員が一堂に会することで、育成会職員としての意識を醸成し、所属を超えた一体感を持つことを目的とした研修会でした。

育成会には、第二ぎんなん作業所、しょうぶの里、グループホーム、相談支援センター、新たに加わった障害児通所支援事業所 子ども育ちの家「て・い・く」、そして、事務局と、それぞれ利用者さんのことを第一に考え、豊かな人権感覚、ていねいで温かみのある関わりや支援を行う職員がいます。この姿勢は、障がい福祉に関わる者にとって、最も大切な資質ですが、それは、やはり母体が親の会ということで、子どもさんの幸せを願う親さん方の一生懸命な姿が背景や基盤にあってのことと思っています。

しかし、これまでは、どちらかと言えば、自分のところしか知らない、関心がないというように、所属間で少し距離感があったのではと感じていました。今、最も大切なことは、育成会で仕事をする私たちが、育成会という「同じ傘の中にいるのだ」という意識、つまりは、「一体感」、「所属意識」だと考えます。

午前、川村隼秋会長の講話「育成会の歩みとめざすもの」と、社会福祉法人清流会 氷川学園長の西坂千賀子先生のご講話「障がい福祉サービスにおけるよりよい支援のために」、午後は、「利用者本位のよりよい支援をめざして」というテーマで、参加者によるグループディスカッションを行いました。川村会長が語られる会の歴史や経緯と、育成会職員としての自覚を新たにするとともに、西坂先生のご経験と深い思索や洞察に基づくお話には、自らの支援・関わりを振り返り、今後の指針となる示唆をたくさん与えていただきました。また、グループディスカッションでも、初めての人どうしが、和気あいあいかつ熱心に語り合う姿が見られました。アンケートでも、今後の定期的な開催を望む声が多かったと、とても好評で、目的だった育成会職員としての意識を醸成し、所属を超えた一体感を持つことができたのではないかと思います。

7月3日には、新たに子ども育ちの家「て・い・く」が立ち上がり、現在、9月1日予定の開設に向けて準備中です。今回の研修会を契機として、それぞれの事業所・所属の職員が心をつなぐ力を合わせていけば、会員や利用者さんのために、更にさまざまなことができるのではないかと期待を大きくしているところです。

施設長 高橋 次郎



県育成会玉名大会

7月29日(土)には、県の育成会大会が玉名郡長洲町のながす未来館で開催され、しょうぶの里からは、濱崎文明さん、大橋啓二さん、岡井紀代子さん、本田美奈子さんの4人が参加しました(職員は、施設長、除野、森口)。

4人は、本人部会の活動に参加し、意見発表を聞いたり、金魚のくるまを作ったり、レクリエーションをしたりして、大会を楽しみました。

しょうぶの里からは、利用者さんの絵画やアートも出展されていきましたので、それをバックに写真撮影もしてきました。





お話し会

8月より、以前しょうぶの里の調理員としておられた、吉村和子さんによるお話し会が始まりました。吉村さんは学校を始め色々な施設で読み聞かせのボランティアをされています。



吉村和子さん

絵本や紙芝居など、利用者の皆さんも熱心に聞かれています。第2回目は9月19日(火)10時30分からです。



かき氷、美味しかったね

今年は花火がなかったからまた来年も来ようね

カレーも美味しかったし、ゲームも楽しかったね

職員紹介



今日も皆さんに会えると思うとワクワクして毎日を過ごしています。波乱万丈の人生を送って来ました。しょうぶの里で心穏やかに過ごせることを皆様に感謝しています。
荒木 フクコ



福祉に携わり20年目という、自分の中では節目の年でもあります。初心を忘れず、謙虚に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。
除野 克典



ご利用者の皆さまに喜んでいただけるよう、ご家族の皆様に安心していただけるよう、よりよい支援ができるように頑張ります。
林田 真由美

給食室より

☆8月のイベントメニュー☆

- 8月8日 リクエストメニュー(昼食)
しょうゆラーメン ギョーザ
グリーンサラダ おおにぎり
- 8月9日 手作りおやつ
シュワシュワフルーツポンチ
- 8月15日 お盆メニュー(昼食)
ちらし寿司 潮汁
炊き合わせ みつ豆
- 8月16日 リクエストメニュー(昼食)
内容は未定(お楽しみ(^o^)/)
- 8月23日 そうめん流し(昼食)



医務室より

熱中症を予防しましょう!

《熱中症とは》

高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく、室内で何もしていない時でも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

《熱中症の症状》

めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感。重症になると、返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い

《熱中症が疑われる人を見かけたら》

- ①涼しい場所へ移動させる
- ②体を冷やす
- ③水分補給

※自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

※高齢者や子ども、障がい児・者は特に注意が必要です。
皆さんで声かけあい、暑い夏を乗り切りましょう!



看護師 田中

8月のお誕生日

- 津田 堅太郎 さん(7日)
- 内野 貴信さん (9日)
- 松本 信二さん (10日)
- 寺本 澄子さん (27日)

楽しみにしていた涼もう会は、天候と日程の調整がつかず、今年は中止となりました…残念。毎年恒例の《そうめん流し》が今年も開催予定です。調理室の職員のアイデアで、そうめん他、トマトやゼリーなど流れてきます。さて、今年はどんなものが流れてくるのか楽しみです!

~~第4号~~

平成29年8月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目
14-58
TEL (096) 311-4588
FAX (096) 329-9411